

平成27年度分学校関係者評価結果

基準1 教育理念・目的・育成人材像等
<ul style="list-style-type: none"> ・育成人材の明確化が課題とあったが、どのような形で目指す人材像を示すのか。例えば具体的な表記とするのか。 ・基準1については、以前より定められ十分だと思われる。 ・1年次予備知識としてのプレ実習、自己課題追及の学習、遊ぼう会等の学生の姿から、年々、具現化されている。 ・学校の未来構想を考えると、滝子キャンパスとして幼稚園、保育所との関係をより連携できる環境づくりをして、互いに利益になるようプロデュースができるとよい。なお、大きな予算枠組みが三者（専門学校・幼稚園・保育園）で可能とする。 ・教育理念・目的・育成人材像等の概念や、改善しなければならないことなど含めて、概ね周知や理解がされていると感じる。（時代の変化に対応した内容の変化に向けて改善点があることなど）学校の将来構想を描き、職業実践専門課程の認可申請の準備など中長期的を見通した改革構想を進めていることは、とても評価できる。
基準2 学校運営
<ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・自己評価報告では「かなり進んでいる」の評価。円滑に、うまくできていると思う。 ・パンフレット等からも、適正に運営しているのが伺われる。 ・昇進・昇格制度では学内のみならず、他校との比較も検討すべきことがある。 ・人事考課について、制度化されていなくても、各職員が課題と目標をもって職務に臨むことは職場全体の質の向上になると考える。 ・職員の外部研修は経験、実績に応じて計画的に行うべき課題。また、全体の研修として職員の研修要求に見合った講師を招聘して内部研修を行うことで、共通の課題が見えてくる。共通の課題が明確になることで職員間の連携も深まると考える。 ・学校の運営方針、事業計画など明確に定められている。見直しなどを含めて今後の学校運営を見守っていきたい。
基準3 教育活動
<ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・自己評価の評価項目が多く、評価も「ほとんど進んでいない～完璧」となっているが、内容によっては様々なとらえ方ができる。 ・委員会を設けて広く意見を求め、改善しようと努力している。 ・自己点検・自己評価の「授業内容の設計や教授法等の現状について…」に関連し、公開授業をすると教職員が互いに学びあえることができる。 ・教育目標、育成人材像は人材のニーズに向けて正しく方向付けがされている。「学生と教員が率直に話し合える学校」という卒業生や在学生の評価もある。少人数クラス担任制をとり教育活動、学生生活指導などきめ細かな配慮がされていると感じる。さらに風通しのよい環境を目指してもらいたい。 ・今後も子どもの発達や、社会情勢に応じたカリキュラムの編成、子どもの最善の利益を保障することの意義。発達の主体性の尊重を捉えた内容を多く伝えていってほしい。また、パソコンのスキルは保育現場でも必要である。カリキュラムの作成や、クラスだよりの作成など在学中に十分学んでほしい。
基準4 教育成果
<ul style="list-style-type: none"> ・希望者100%の就職率は素晴らしい。 ・自己点検・自己評価報告の「完璧」の評価が多いのは良いこと。教職員の努力の結果である。 ・近年、環境に適応していく力の弱い学生が多い中、現場（園）にふれる経験は貴重である。 ・就職希望者に対して、100%の就職率を確保していることはとても評価できる。公立・私立の採用試験に向けて対策をとり、学生への教育援助や指導体制なども充実してきていると感じる。しかし、昨今の保育士不足は、重要な課題だと感じる。また、保育という営みの大変さから、実習を通して学生の意欲や態度が年々低下していると感じる。実習に向けた学生への指導もしていることと思うが、保育の重要性を再認識してもらい、一人でも多くの学生が保育の仕事に就いてもらえるような環境を作っていただきたい。また、卒業生の情報収集、同窓会の活動強化やメールサービスの導入など、卒業生の就職状況の把握をしてさらなる雇用発掘につなげてもらいたい。

基準5 学生支援
<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな悩みを抱える時期に学生相談室を毎週月曜に開設していることは大切である。 ・同窓会活動の充実は、現役学生にとっての指標となり、交流会なども設けるとさらなる発展につながる可能性がある。 ・遠隔地出身学生の対策として、寮や安全で安価な賃貸物件の紹介を充実させる。 ・保護者への理解と協力要請は成果と共にいろいろな形で取り組んでほしい。特に高校新卒の学生。 ・就職希望者に対して就職オリエンテーションや就職マニュアルを基に一環した指導体制が取られている。学生相談室を開設し心理カウンセラーが週に一度学生の相談に応じ支援体制の強化が図られていることは、学生や保護者にとっても安心できる。 ・希望の職種(保育士、幼稚園教諭)に就いても一年程度で辞めしまう卒業生がいるため、就職指導は常に注意を促す。 ・例えば、同窓会活動の一環として交流イベントを設定し、現役学生にとっての指標となるようにすると現場でのニーズにも触れることができ、さらに勉学が進むのではないか。
基準6 教育環境
<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する設備・機器の情報の周知についての自己評価・自己点検報告では「やや足りない」となっている点が気になる。これはすぐに改善できると感じる。 ・滝子キャンパスとして総合的にコーディネートする人材、プロジェクトチームで、保育専門学校、滝子幼稚園、たきこ幼児園が互いに継続、発展を共通の目標として考えることが求められるのでは。 ・幼稚園・保育所が施設内にあり、より実践的な体験を通した保育を学習するのにふさわしい環境である。図書室や、特別教室なども充実しており、学生の学びを支える環境に適していると評価できる。
基準7 学生の募集と受け入れ
<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットで検索してみたが、保育の専門学校検索サイト、例えば「保育、幼児、専門学校」などのワード検索では他校へ導かれてしまった。本校へのアクセスが一番になるような方法を検討すべき。 ・入学前スクーリングの様子のHPの情報提供は、参加者がとても楽しそうで、今後の募集に効果があると思った。もっと前面に出して宣伝してもよいのではないか。 ・大学HPから本校HPへのリンクを(滝子幼稚園HPやたきこ幼児園HPのリンクも)分かりやすくして欲しい。 ・教員、事務職員とも学生確保の効果的プランを立てることが喫緊の課題。 ・本校の他校にない特長をしっかりとプレゼンできるスキルを高める研修など実施してはどうか。 ・過去の広報活動と他校の広報活動を参考に学ぶべきものがあるのでは。 ・学校案内の見直しを図り、現役高校生に向けてとても分かりやすい内容に改善されていると感じる。しかし、社会人などはホームページや入学案内、電話相談などで問い合わせをすることが多いので、体制作りを強化してもらいたい。
基準8 財務
<ul style="list-style-type: none"> ・少子化の中、財務は大変財政は厳しい状況であるが教育内容を支えるという意味では大変重要であり、学校運営をうまくやってもらいたい。 ・会計業務等を再度見直して全部の財務等を統括する部署の設置を検討する。 ・年度により学生数のバラツキがあり、財務基盤は不安定であるが、適切な監査が行われているようで、問題ないと評価する。
基準9 法令等の遵守
<ul style="list-style-type: none"> ・適切に行われている。 ・各法令に沿って適切な管理のもとに行われている。

今後の課題について

- ・学生獲得のために、以下のことをいっそう強調してアピールしてはどうか。
 - ①最大利点である隣接の幼稚園・保育園現場を生かすこと。
 - ②学内のみで資格の取得が可能であること。
 - ③立地は解りにくい場所ではあるが、地下鉄「荒畑」駅よりも「金山」駅のバス乗り場や時刻表等の紹介や、「桜山」駅から徒歩でも来られる、バスも多く運行していることなど、大変便利な場所であることをアピールしたらよいと思う。
- ・初めて来た時には学校へ入る道が判りにくく、道案内看板を設置することが必要である。
 - ・同窓生の力を借りて、本学校の生徒が実践力のある資格取得者であることを情報提供してもらおう。
 - ・本校の発展のために、幼稚園、幼児園も含めて定員の確保、質の向上に取り組むことが必要。
 - ・保育専門学校の発展は滝子幼稚園、たきこ幼児園の発展でもある。社会的信頼を得るのも然り。保育園として、協力は惜しまない。職員全体が一丸となって取り組む必要がある。
 - ・学校運営・教育活動は、概ね適切に運営されていると評価する。改善点として、以下の点を指摘しておきたい。
 - ①経営的な問題はないと思うが今後の入学者数の増員が見込めない場合は、財政状態の悪化を免れない。交通の利便性、授業料の安さなどをアピールし、入学説明会のさらなる充実などを目指して入学者の増加に取り組んでもらいたい。
 - ②社会人入学者の増加を図り、四大との連携強化に努めてもらいたい。